

支那そばの車を轉覆

平町字鎌田町淺岩ネン方借家居住支那そば業麻増田(三〇)は六月二日午後十一時頃支那そばの車をひいて平町字七丁目を行商中注文があつたので、そば一個を届けてゐる隙に何者かそばの車を轉覆したものがあつたので四日平署に告訴した。

柿のほゝ 岡田新夜子
歡びはわすれな草の淺春を芽ぐめる程のほのかさよ君さくら草の匂ひのふもも春の日を遠人おもふさびしさをな

生みたての卵なるべし弟を微笑みにつつかかへ来るはマンドリン弾けば必ず側にきく小鳩の歌をうたふ弟きりしまのびと花こころに落ちかな眠る少女の唇に似て躊躇なくわれに來りし子を抱くこの夕ぐれよ泣かまほしかりかくれんば果てたる後の遊場に紫陽花淡く影を伸べたる。

懲役を志願する男

當時住所不定無職渡邊長次(三〇)は去月中石城郡赤井村土工部屋太田飯場に出稼中同僚某から現金六圓を窃取した外横領罪として其筋に捕はれ検事局で取調べ中の處検事に對し早く服罪したいから判決して下さいと言ひ、検事を手古摺らしてゐたが三日公判を開き懲役一年を求刑したところ同人は再び判事に對し直ぐ判決して下さいと懇願したので懲役八ヶ月の判決を下した處、直ちに服罪した。

▲家出少女取押

茨城縣助川町字新町小野安次郎姪佐藤ユキ(十五)は三日安次郎に叱られたので筆筒から現金を盗み出し助川から下り列車に乗り湯本驛に來た處を車掌に取り押えられた。

原監 作督 金城 子戸 洋四 文郎 全

髮史

演主……門衛太右川市
子文夜小……典國堂高
るあて話挿一たつ起に藩某の北東・前直新維はれこ
よ等奴め覺眼に想迷の夷漢國銀尙てれら切な髪
ざるやてつ突で底の賦地は俺……は俺
………なび叫の吾金田上。吐血

胃腸

内科 専門
十二指 腸胃病
胃性 腸病
村松 南町平

梅毒

皮膚病 専門
淋病 婦人病
院醫科 (七〇一話電)

治淋新劑

絶無副作用 廣く賞讃される所以也

強タカジリン

(定價一圓、二圓、三圓)

特約店 大平屋藥店

春風の彼方

劇時代 全
小林三夫・櫻井京子・瀬川路三郎・幼演
………何處へ行つて何をしたらよいか………さふすれば飯にありつけぬ………今夜は何處へ眠らうか………此の大勢の人間がみんなさふすまにか食つて生きて居るのだ………俺が食へないさふすまは………それからさ………

鳥

主演 瀧花久子……島耕二……

秘家傳腫物湯

○切らずに治るはれ物の妙薬
本劑は古き歴史を有する家傳の靈藥にして總て炎症性腫物に卓効あり、毒深き難症にても化膿前ならば速かに下毒消散せしめ化膿後ならば外部に破潰して自然に治癒する事極めて妙なり。

特約店 小野藥店

藤沼醫院

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科

平町紺屋町 電話平國五〇七番

佛國マルソー會社元詰

生葡萄酒

マルソー・フランク・白 1.10
マルソー・ルージュ 赤

良品にして安價實行飛ぶが如し

西村屋藥局

平野商店

果物 干果 罐頭

貸家あり

平町字新川町十七番地
商店向き一ケ所
家賃 十四圓五十錢
何れも水道の便あり

中野勇吉

外科専門 X光線科

病室完備 平町南町
上田外科醫院
電話一三九番

柳川なべ

あいはじめました

仕出し 鳥料理 初音
電話二三六番

阿部石炭商店

磐城炭礦 最優等炭
東京瓦旗コークス一等品
木炭代用 無煙、無臭、家庭用炭

◎石炭 正味十貫目 一俵金六十錢
◎コークス 一俵金一圓二十錢

初夏……サロンの新装

店內に新緑の氣分を集め、皆様の御期待に添ふ
アイスクリーム (十五錢)
ドウゾ御用命を……

サロン

電話三五二番